

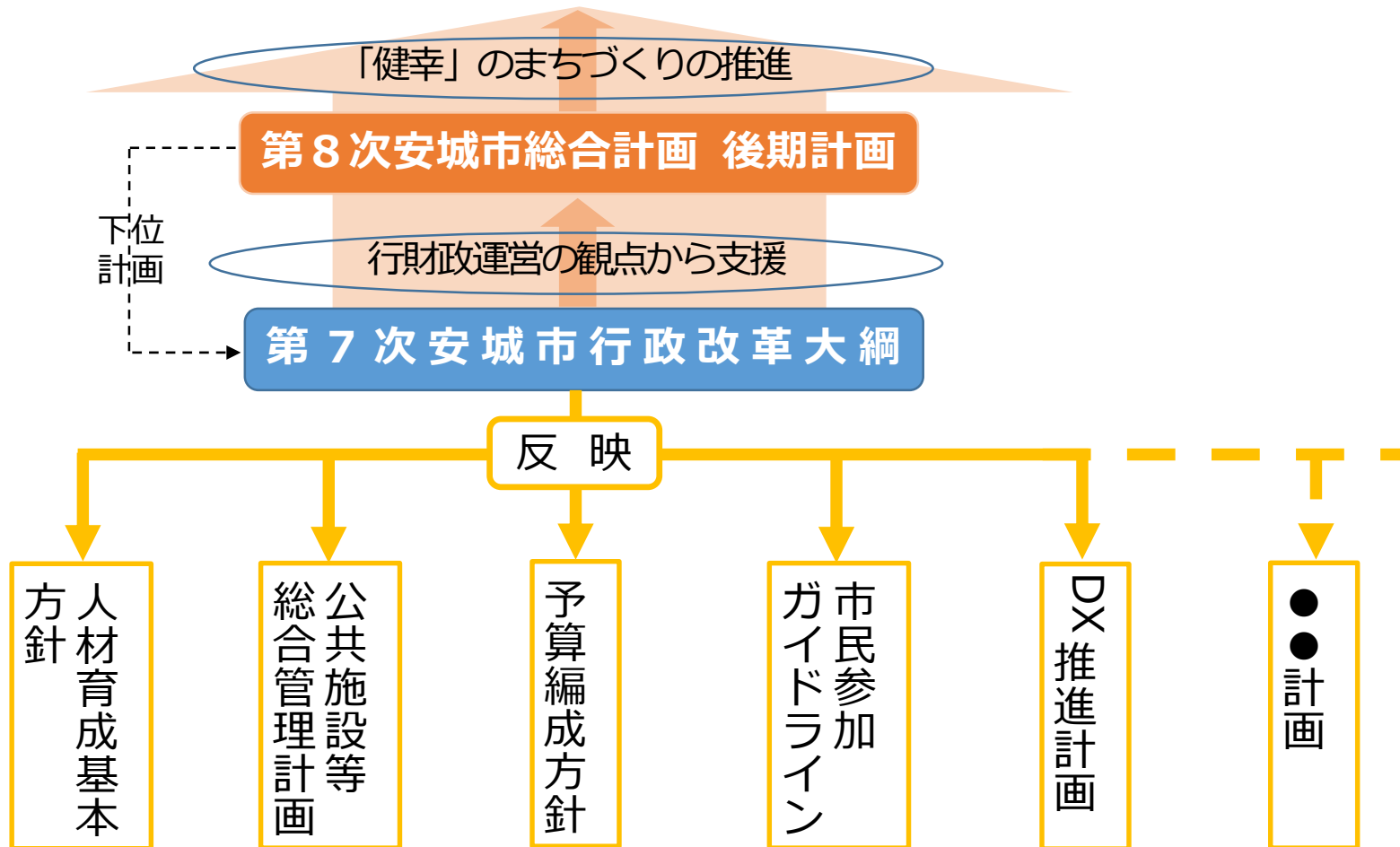
議 題

第7次安城市行政改革大綱（原案）について

- 1 改革の方針
- 2 改革の取組内容
- 3 今後のスケジュール

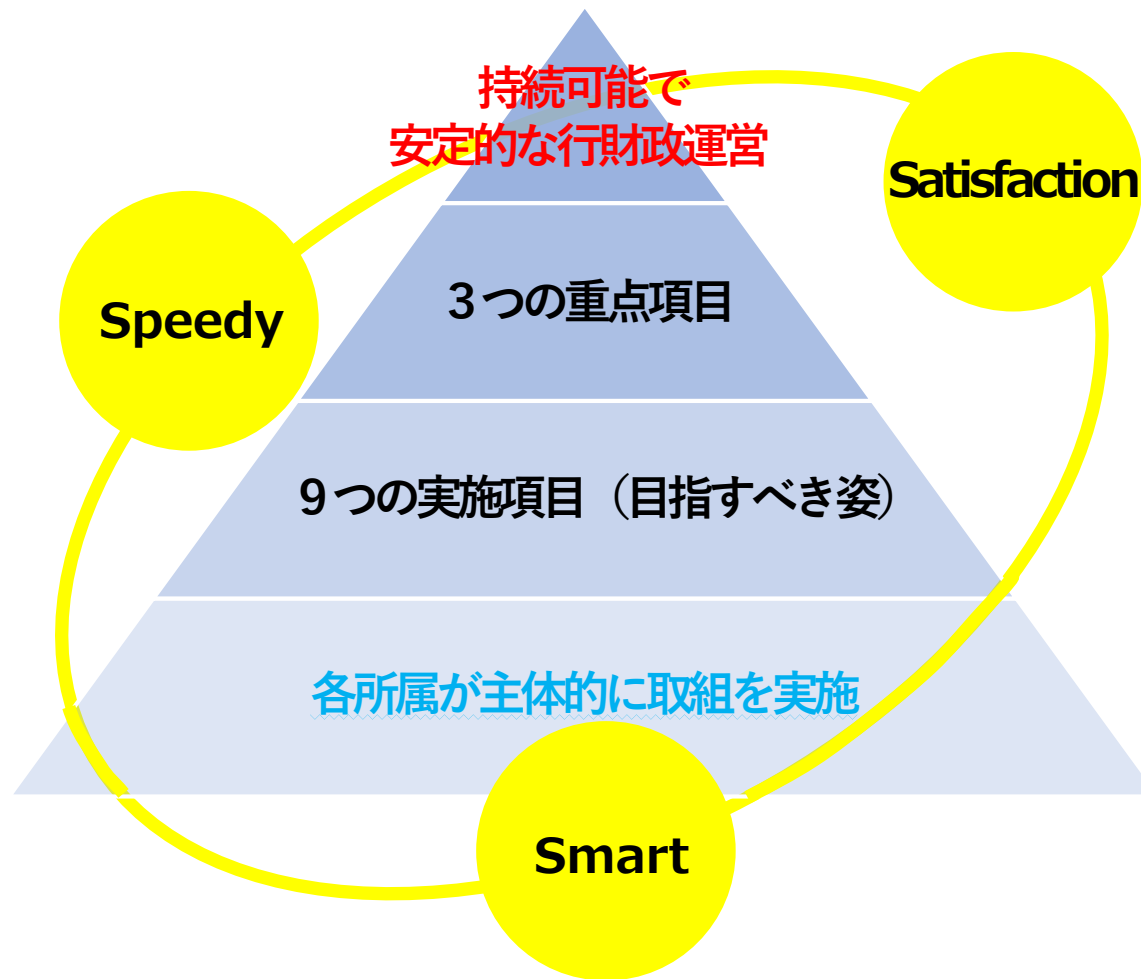
1 改革の方針 ～大綱の位置付け～

市民一人ひとりが生活の豊かさとともに幸せを実感できるまち



1 改革の方針 ～取組の全体像～

市民一人ひとりが生活の豊かさとともに幸せを実感できるまち



2 改革の取組内容 ～取組の視点～

第7次行政改革大綱の推進にあたっては、次の**3つの視点（3S）**を各職員が常に意識し、取組を推進することとする。

1 Satisfaction

行政サービスの提供にあたっては、**市民の満足度（satisfaction）**を常に意識し、満足度向上に向けた改善を絶えず進める。また、職員の仕事に対する満足度は、仕事のパフォーマンスに大きく影響することから、**職員の満足度（satisfaction）**にも配慮する。

2 Speedy

環境変化が急速なスピードで進んでいる現状を踏まえ、あらゆる政策課題に対し、**時機を逸することなく、迅速に（speedy）**対応する。

3 Smart

政策課題に対して、必要な情報を取捨選択し、真に必要となる施策を**的確に（smart）**進める。また、経営資源を**効果的・効率的に（smart）**活用し、無駄のない行財政運営を実現する。

2 改革の取組内容 ～目標・重点項目～

第7次行政改革大綱の目標を「持続可能で安定的な行財政運営」とするとともに、本目標の実現のため3つの重点項目を設定する。

1 経営資源の最大活用

高度化・複雑化する行政課題に迅速かつ的確に対応していくためには、**限りある経営資源（人材・資産・財源・情報）を有効活用する必要がある**。職員の人材育成や職員の力を最大限発揮できる環境づくり、資産の適正管理等を通じて、**質の高い行政サービスの提供**を目指す。

2 健全財政の維持

あらゆる環境変化に耐えうる持続可能な行財政運営を確立するためには、**健全財政を維持していく必要がある**。自主財源の積極的な確保に努めるとともに、行政評価制度を活用した歳出の最適化を図り、**財政のさらなる健全化**を目指す。また、民間事業者等と適切に連携・協働し、**無駄のない効率的な行財政運営**を目指す。

3 行政のデジタル化

行政サービスの効率的な提供や市民の利便性向上、職員の事務負担の軽減を実現するためには、ICTの活用をはじめとした**行政のデジタル化を進めていく必要がある**。手順のオンライン化やAI・RPAの活用等を通じて、「**便利で生活の豊かさを実感できるデジタル市役所**」の実現を目指す。

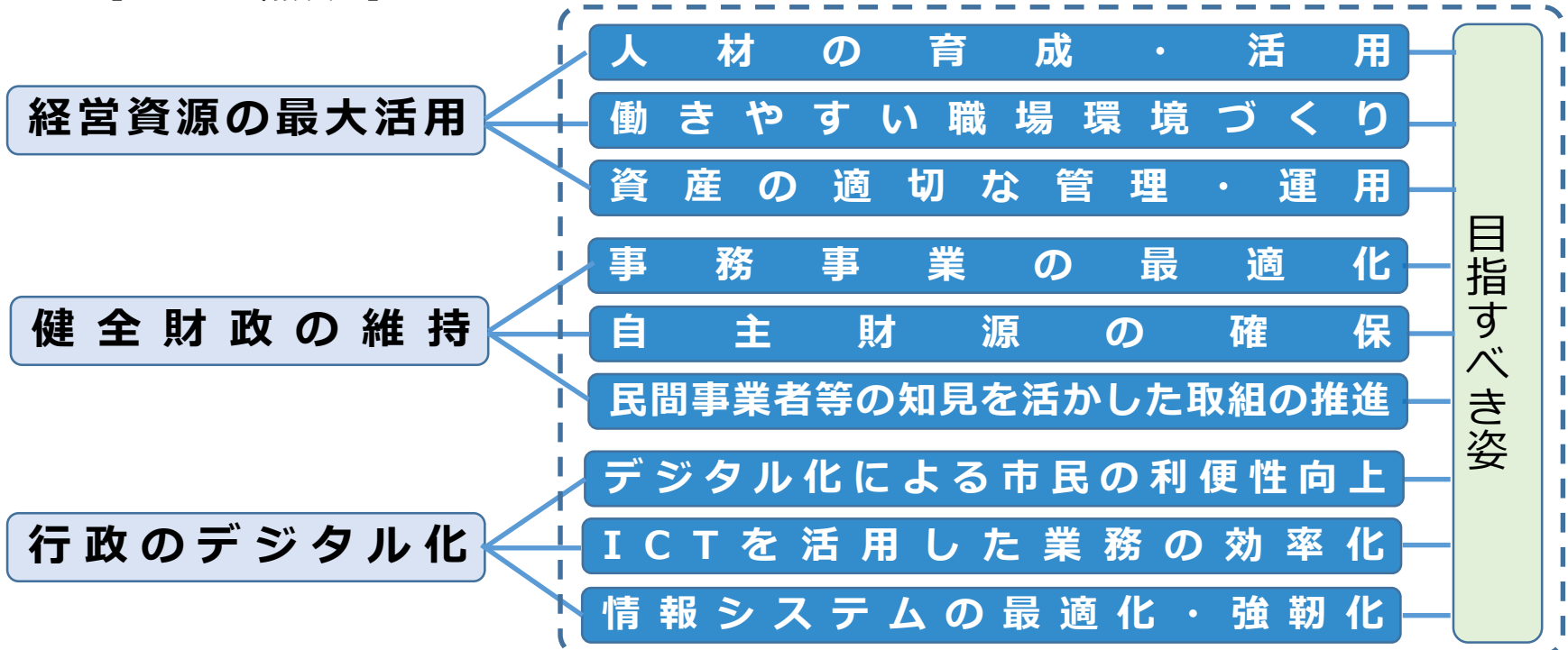
「持続可能で安定的な行財政運営」

2 改革の取組内容 ～実施項目～

3つの重点項目のもとに、それぞれ3つの実施項目を設定し、各項目に『**目指すべき姿**』（本市が5年後に達成しているべき行財政運営の在り方に関する指針）を設定する。また、進捗管理を適切に実施するため、**進捗管理指標及び数値目標**を設定する。

【3つの重点項目】

【9つの実施項目（目指すべき姿）】



2 改革の取組内容 ～実施項目～

経営資源の
最大活用

人材の育成・活用

上司との適切な面談・透明性のある人事評価・効果的な研修制度等を通じて、**すべての職員が自身の成長を実感するとともに、自ら学び、課題の解決に向けて挑戦できる人材育成**を実現します。また、年齢・性別等に関わりなく、職員を適材適所に配置することで、**組織の活性化**を実現します。

＜進捗管理指標＞ 仕事を通じて成長していると実感する職員の割合：95%以上

働きやすい職場環境づくり

勤務時間・休暇取得・執務環境などの就労環境において、職員が不満を感じることなく、**職員の能力が最大限発揮できる職場環境**を実現します。また、職員提案制度を活用し、職員の先進的な業務改善事例を全庁に展開するとともに、職員の気付き・課題認識に基づく**職員からの提案を全庁の業務改善に結び付けます**。

＜進捗管理指標＞ 1人あたり時間外勤務時間（年間）：令和3年度実績から2割削減
職員満足度調査における総合満足度：不満層5%以下

資産の適切な管理・運用

公共施設等の維持管理にあたっては、計画的な予防保全と長寿命化の推進を通じて、**安全な施設の利用環境を整備**します。また、今後利用見込みのない**市有地の適正な処分**を推進するとともに、民間活力の導入等を含めた**資産の有効活用**に取り組みます。

＜進捗管理指標＞ 今後利用見込みのない市有地の処分手続件数（累計）：5件

2 改革の取組内容 ～実施項目～

健全財政の
維持

事務事業の最適化

各課は毎年度、事務事業をゼロベースで見直し、最小の経費で最大の効果が発揮できるよう**事務事業のスクラップ&ビルドを推進**します。また、**行政評価（外部評価）の実施**により外部の視点を事務事業に反映させ、事業効果を向上させるとともに、**業務の棚卸し**を実施し、ICTの活用を含めた業務プロセスの効率化・最適化を実現します。

＜進捗管理指標＞ 行革効果額（累計）：20億円
行政評価（外部評価）を実施した事業数（累計）：20事業

自主財源の確保

事務事業の推進にあたっては**国の補助金・交付金の活用**に努めるとともに、市の貯金にあたる財政調整基金をはじめとする**各基金を適切に管理**していきます。また、**自主財源のさらなる安定的な確保**に向けて、ふるさと納税を拡充するとともに、クラウドファンディングや企業版ふるさと納税を活用した事業を実現します。

＜進捗管理指標＞ ふるさと納税（企業版含む）による寄付金額（年間）：3億円

民間事業者等の知見を活かした取組の推進

民間事業者等の知識・ノウハウ・資金を行財政運営に積極的に活用するなど、**公民連携の推進**により、質の高い行政サービスを提供し、**地域課題の解決及び地域の活性化**を図ります。また、成果連動型民間委託等の新たな民間委託の取組を推進します。

＜進捗管理指標＞ 企業や大学等の連携協定締結数（累計）：10件

2 改革の取組内容 ～実施項目～

行政の デジタル化

デジタル化による市民の利便性向上

行政手続のオンライン化やキャッシュレス決済の導入など、**行政のデジタル化による便益を市民が享受できる取組を推進**します。また、**ほぼすべての市民にマイナンバーカードを交付**し、その利活用を通して行政サービスを円滑に提供できる環境を実現します。

＜進捗管理指標＞ オンライン申請ができる手続数：48手続

（※国の動向により数値目標を修正する場合があります。）

ICTを活用した業務の効率化

AI・RPA等のICTを活用し、**職員の作業時間及び人為的ミス的大幅な削減**を目指します。併せて、ペーパーレスの推進により**紙文化から脱却**するとともに、WEB会議やチャット等のツールを活用し、**いつでもどこでも滞りなく業務が遂行できる環境**を実現します。

＜進捗管理指標＞ ICTの活用により削減された作業時間数（年間）：2,000時間
コピー枚数（年間）：令和3年度実績から5割削減

情報システムの最適化・強靱化

国が主導する標準準拠システムへの円滑な移行に向け、関係部署と連携しながら**システム標準化に向けた取組を推進**します。また、故障やセキュリティ侵害により市政に影響が生じないように、**システムを適切に管理**します。

＜進捗管理指標＞ システム標準化：令和7年度末までに国が示す17システムを標準化

（※国の動向により数値目標を修正する場合があります。）

3 今後のスケジュール

日程	行事等	内容
R3.11.12	行政改革審議会	原案の提示・審議
	【原案の確定】	
R3.11.25～	パブリックコメント	－
R4.1.18	行政改革推進委員会	パブリックコメントの結果報告等
R4.1.31	行政改革審議会	パブリックコメントの結果報告等 ⇒ 【大綱策定答申】
R4.2	【第7次安城市行政改革大綱策定】	